

—労働と教育の場「雑草」・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だより—

# あらぐさニュース

2013 1

Vol.48

発行／社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方 438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862 (支援センター直通)

## 成人おめでとう



平成25年1月10日に、事業所に於いて、成人を祝う会を行いました。

今年成人されたのは、クッキー班の久保田慧理さんです。あらぐさの仲間達は、『ヒーロー』の歌や自治会メンバーが準備したアンケートクイズを披露し、日頃ボランティアでお世話になっている八木さんご夫婦が活動している『やぎさん一座』からは、仲間達が大好きな紙芝居や、久保田さんの誕生から現在に至るまでの成長記録をスライドで紹介していただき、新しい門出をお祝いしました。

職員は、久保田さんのご家族がいつまでも幸せに過ごされますように『家族になろうよ』を心を込めて歌いました。途中には歌手の福山雅治に変装した職員が表れるとキャー！ワー！と歓声が上りにぎやかな会になりました。出席されたご家族の方からは「とても良い会でした、ありがとうございます。」と感想を言って頂くことができました。

(相良)

# 年頭にあたり

理事長 太田正一

「あらぐさニュース」ご愛読の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、懸案であった女性向けケアホーム「第2クローバーハウス」の開設、3.11 東北大震災被災地の障がい者支援のための職員派遣や、管理者交代に伴う新職員体制の編成と職員養成、ホームページの立ち上げなど、就任間もない素人の理事長にとっては、何かとあわただしく追われるような1年でしたが、皆様には格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

特に、「第1クローバーハウス」の初期資金として多くの方からご支援いただいた借入金がお約束通り10年で完済できました。ご協力にあらためて感謝申し上げますとともに、この間の法人運営が継続して安定した運営が引き継がれているものと理解しているところです。

つくり運動からかかわってきた多くの先輩方にご指導ご援助いただいていた「あらぐさ福祉会」は、今世代交代の時期を迎えつつあります。

法人の役員・評議員・職員・保護者の皆さんに至るまで、つくり運動にかかわっていない世代への交代が進んでいます。

ハンディキャップを支援することは、障がいを持つ仲間たちが人として生きてゆくために必要な社会的な役割とされています。法人では、仲間たちを支援する仕事を通して、職員がどのように福祉の心を育むのか、当事者の声を社会に反映させるために何をすべきかを議論しています。

先人たちが築き上げた法人の理念をどう正しく引継ぎ発展させるか、その中でどのような事業展開を計画するのが今年度の課題でもあります。

障がい者や、障がい者を支援する私どもの法人などを取り巻く環境は予断を許しません。

本年も物心両面のご支援を深くお願いするところです。

発信力の強化を目指して ホームページを立ち上げました

パソコンをお持ちの方ぜひアクセスしてみてください。

「あらぐさ福祉会 上尾」で検索するか

<http://www.11.ocn.ne.jp/~aragusa/index.html>

他にも「あらぐさ福祉会」があります。

よちよち歩みはじめたところです。

ご意見アドバイスをお待ちしています。

# 障害者生活支援センターあらくさのページ

## 岩手県陸前高田市の障害者調査活動報告その2

障害者(児)救助・支援の遅れについて考える。

前号で実態調査のあらましについて述べましたが、あまりにも大きな災害だったので、障害者(児)の実際が報じられたのは、かなり後になったのは記憶に新しいところです。今回は現地に行ってみて、なぜ配慮されなければならない障害者(児)の救助・支援が遅れたのかについて考え、今後起こりうる関東・東南海大震災に備えなければなりません。

### 1 地域の状況

- ①人数が少ない→総人口が少ないうえに、更に少数の障害者(高齢者:介護保険利用年齢層と重複する)
- ②社会資源が少ない→埼玉県とは逆の意味で資源が少なく広域(岩手1県で四国と同規模)
- ③社会福祉が一般的ではない「福祉の世話にならない・なれない、(ないしょ、障害を開示しない・できない)」
- ④豊かな自然の中で、地域共同体が機能していた。

### 2 震災後は

- ①根こそぎ破壊されたため、全ての分野がマイナスからの再出発。
- ②行政機構も壊滅したため、実態がわからない(それでセンターが派遣されたのですが)市役所職員113名死亡、市役所・社協・保育所2ヶ所・児童デイサービス・診療所・消防本部が全て全壊。

\*公務員の人員削減が早くから進められ追い討ちをかけた。(責任を負って指揮・指示・連絡・調整する系統がマヒ→災害弱者まで手が回らない)

- ③助かっただけでもという雰囲気当初強く、障害特性など訴える状況下になかった。

### 3 救助・支援が進む中で

- ①実態が明らかに→全部一緒に避難所での生活困難(障害特性)、医療ケアの困難→帰宅や避難所転々のケースが続出。
- ②保健師・精神保健福祉士・施設職員等の専門職の不足。
- ③心のゆとりを持ってない中での孤立。これらの中で、実態把握や仮設や二次避難場所での安否確認が大幅に遅れ、結果として把握や支援が遅れたということです。

### 4 震災を教訓に

- ①防災計画に障害者(児)や高齢者等災害弱者を優先するという考え方に方針転換させる。
  - ②私たち関係者だけではなく、防災に関係する機関に障害特性を理解してもらう。
  - ③地域や学校、病院等に、障害者(児)特別な支援の必要性を周知交流する機会をもつ。
  - ④日頃から「地域で共に」を実際のものとする実践を積む。
- ◎このようなことを、陸前高田市の調査活動の中で、学びました。(文責 中富)



骨組みを残して全壊した市街地の建物  
(市街地は鉄筋の建物以外は全て流されました。)



一本松の川の反対側の中学校が全壊で  
廃校になりました。  
(屋上近くまで津波がきたそうです。)



# 行事 ア・ラ・カルト

12月は行事ラッシュでした。どの行事も仲間がとても楽しそうに取り組んでくれたので職員としても嬉しく思いました。そんな仲間の様子を「あらぐさクリスマス会」・「きょうされん仲間交流会」・「ライオネス・コンサート」と行われた順番にご紹介します。



## あらぐさクリスマス会

2012年12月8日の土曜日に行われたあらぐさクリスマス会の様子をご紹介します。

今回のクリスマス会はゲストにやぎさん一座と池田さん夫妻の二組をお迎えして紙芝居とアコーディオンによるミニコンサートをメインにサンタさんとのビンゴゲームなどが行われました。

やぎさん一座は紙芝居のほかに腹話術もやってくれました。腹話術の人形の名前が「こうちゃん」と仲間に親しみのある名前だったこともあり笑い声が絶えないほどの大盛況でした。また、ミニコンサートもただ聞くだけではなく、歌詞カードを配りクリスマスソングなどを仲間と一緒に楽しく歌ってくれました。

こうして盛り上がったところにサンタさんが表れて仲間たちにプレゼントとビンゴカードを配ると大ビンゴ大会が始まりました。今年はデジタルビンゴの機械を使ったので数字が理解しやすかったのか、前回よりも自分の力で出来た仲間が増えていました。これも一つの新しい発見でした。ビンゴゲームが終わると当たらなかった仲間の中には悔しくて泣きだしてしまう人までいました。

とてもにぎやかであつというまに過ぎてしまいましたが仲間の笑顔が絶えない楽しい一日になってよかったです。  
(高野内)





# きょうされん北東ブロック交流会

12月12日 行田グリーンアリーナにて「寒さに負けるな！カラオケ大運動会」が、きょうされん加盟の5つの事業所合同で開催されました。年に1度のイベントという事もあり朝からハイテンションで、行きの車中で既に大盛り上がりでした。

午前中は運動会、昼食を挟み午後はカラオケ大会となりました。運動会では人気のパン食い競争や綱引き、そしてリレーなどが競技種目となり、闘志を燃やす激しい戦いとなりました。

リレーでは、観客席から「かっこいいー！すてき〜！」などといった言葉があちこちから飛び交ってました。その言葉に気持ちを打たれたのか、凄まじい形相でどンドンと抜いていき優勝することが出来ました。

カラオケ大会では、スピーカーから流れてくる音楽にノリノリで参加していました。歌手になりきった振り付けや表情のなかま達がおおぜいで、作業中見られない表情を垣間見る事ができました。

雑草は、昨年同様総合2位という大変悔しい結果となりましたが、他の事業所のなかまとの絆も芽生え、1日笑って楽しく過ごせ良かったと思います。  
(伊藤)



# ライオネスコンサート

今年も、ライオネスコンサート（ライオネスクラブ主催）を12月16日（日）上尾市コミュニティセンターで開催しました。今年は休日ということで、現地集合にしたところ、予定より30分以上も早く来て、コンサートを楽しみにしていた仲間もいました。控室でも、「僕のTシャツどれ？」「緊張する。」「みんな頑張ろうね。」など、様々な話が飛び交って、盛り上がっていました。

各事業所の発表はどれも個性豊かで、劇やコント、合唱などの披露がありました。あらぐさの仲間も、まねをしたり、歌を口ずさんだり、手拍子をしたりと一人一人が違った楽しみ方をしていました。

あらぐさは、嵐の「HERO」とAKB48の「会いたかった」を披露しました。ボンボンを使って元気よく踊ったり、恥ずかしがらずに大きな声で歌うことが出来ました。

2部のアルマジロ混声合唱団を見た仲間は、ただただ「きれいな歌声…」とみんな圧倒して見ていました。  
2013年2月には、あらぐさコンサートが控えています。ここでの反省点を活かして、今後も歌の練習をしていき、成長した仲間の姿をたくさんの方々に見ていただきたいと思います。  
(関口)



# 『第1クローバーハウス通信...冬』

## ◆第1クローバーハウスとは・・・

上尾市領家の住宅街にある、知的障害者の共同生活の場です。外観は、普通の民家と変わりありません。2002年11月に開所し、現在6人の男性利用者が生活しています。365日開所です。

## 〈クリスマスパーティー〉

これまで第1クローバーハウスでは、土曜日の日中に利用者全員がそろうということはあまりありませんでした。しかし、12月22日の土曜日は、久しぶりに全員がそろったのでクリスマスパーティーを開きました。みんながサンタやトナカイになり、チキンを片手にあらぐさから届いたケーキで「メリークリスマス！」いつもと少し違った雰囲気の昼食会となりました。街の賑わいと同様に、この日は第1クローバーハウスもクリスマス一色で盛り上がりました。



(サンタやトナカイになってメリークリスマス)

## (玄関飾りの前で正月の記念写真)



〈第1クローバーハウスの年越し〉  
街がざわざわして忙しくなる年末、利用者が普段通っている事業所や会社も正月休みに入ります。第1クローバーハウスで生活している利用者も、年末年始を実家で過ごす人はこの時期帰省します。毎日、大勢でワイワイガヤガヤしていた第1クローバーハウスが、一年で一番静かになる時が年末年始です。第1クローバーハウスが開所してから丸10年が経過しました。開所当初の第1クローバーハウスでの年越し利用者は0人でしたが、昨年までは2人、そして今回は初めて3人の利用者が年越しをしました。10年も経過すると、そ

れぞれの利用者の家庭状況は少なからず変化してきます。2013年は3人で一緒に新年を迎えましたが、10年後はまた何人か

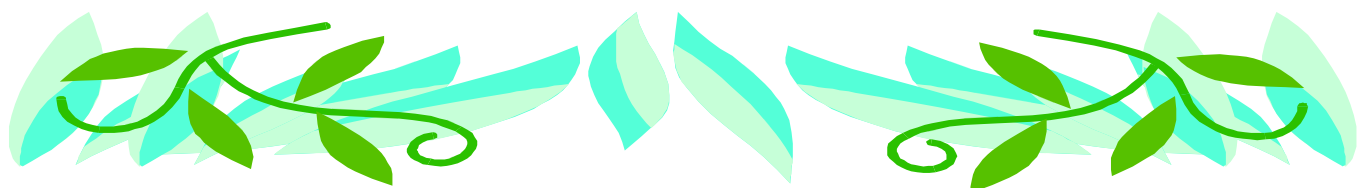
第1クローバーハウスで年越しをしていることでしょう。

(高橋)





# お知らせコーナー



## 第23回上尾市障害者作品展示即売会

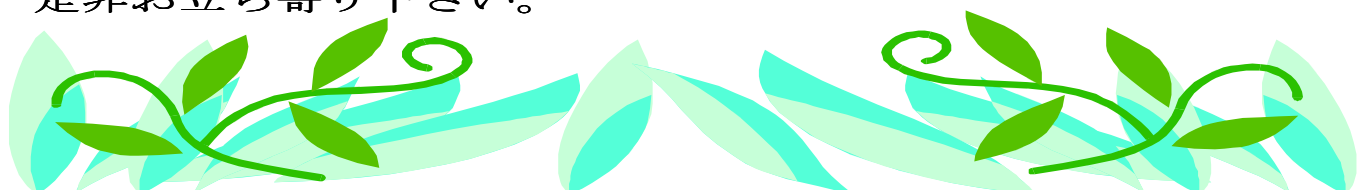
I N 丸広百貨店

日程：2月16日（土）～2月19日（火）

10：00～17：30

雑草は、ケーキ・クッキーを販売します。

是非お立ち寄り下さい。



## バレンタインセット受付中

毎年好評の、バレンタインの季節になりました。

アモンドショコラと、トリュフ、クッキー

の単品・セットの購入ができますので、

ぜひ、宜しくお願いします。

\*セット…850円と600円の2種類

\*単品…アモンドショコラ 250円

トリュフ(5コ入り) 600円

トリュフ(10コ入り) 1200円



電話・FAX でのご注文もお待ちしております。

### 編集後記

先日「空き缶回収中」というゼッケンを着てリヤカーを引いているグループに会いました。その姿から作業所の人たちとわかりました。娘の苑子は通じるものがあったのでしょうか。道路の反対側を歩いているそのグループに手を振っていました。先方は(?)の表情でじっと見ていましたが、苑子は嬉しくてしょうがない様子でした。

空き缶、たくさん集まるといいですね。

(高橋恵子)